

令和4年(2022年度)熊本県堆肥共励会堆肥腐熟度判定結果

分析機関:(一財)畜産環境整備機構畜産環境技術研究所、農業研究センター畜産研究所
コメント作成: 県北広域本部 農業普及・振興課

通しNo	104
地域	菊池-16
生産者名	セブンフーズ(株) 大津第二農場
堆肥原料	中小家畜

1 堆きゅう肥の成分分析結果

(分析値は現物当たりの%で示した。1%で1t当たり10kgに相当する。)

項目	水分	pH(1:20)	EC(1:20)	全窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	炭素	炭素率
分析値	30.2	7.20	8.70	1.40	3.00	2.44	12.56	1.12	19.3	13.8
評価 *1	標準	低い	高い	標準	標準	やや高い	高い	標準	やや高い	やや高い
肥効率を考慮した堆肥1t中の肥料成分量(kg)				7.0	18.0	22.0				

*1 評価基準は、下記参考)熊本県における堆肥の分析値により判断した。

参考)熊本県における堆肥の分析平均値(中小家畜(豚))

項目	水分	pH(1:20)	EC(1:20)	全窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	塩素	炭素	炭素率
平均値+σ	40.5	9.4	7.3	2.6	5.4	2.6	5.1	1.8	1.6	23.9	16.2
平均値	21.9	8.4	5.0	1.4	2.9	1.4	2.6	1.0	1.0	13.4	11.2
平均値-σ	3.3	7.5	2.7	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.4	2.8	6.2

この表は該当する畜種のH16-R4年度に出品された平均値です

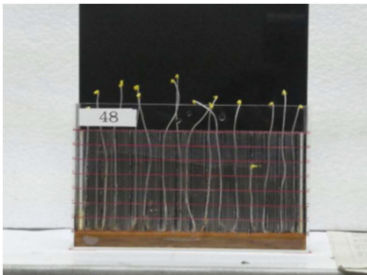
分析結果に対するコメント

- ・今回は完熟と判定されました。
- ・水分は平均値ですが、適正範囲(40~60%)をやや下回っています。堆肥化の期間中に水分が下がると微生物の活動が鈍くなり、堆肥化がスムーズに進行しなくなります。堆肥化期間中の堆肥の乾燥に注意して下さい。
- ・豚糞堆肥としてのカリは平均値よりも高く、窒素、リン酸は標準値でありました。

注)堆肥中の養分が多いか少ないかで堆肥品質の良否は判定できませんが土作りに用いる場合は養分が少ない方が好まれる傾向があります。

2 腐熟度判定結果

発芽試験結果画像 今回出品された堆肥の試験結果



発芽インデックス値 **262**

インデックス値(指数)	評価	評点	★
150以上	完熟	15	
100~149	完熟に近い中熟	12	
70~99	中熟	9	
30~69	中熟	6	
1~29	未熟	3	

この腐熟度判定は熊本県堆肥生産技術コンクールに基づく腐熟度判定です。堆肥の熟度判定は統一的な判定法は確立されていませんので、判定法が異なれば腐熟度も異なって判定される場合もあります。

なお、平成17年度より判定項目と配点を変更しております。(発芽試験の項目追加、堆積期間と切り返しの項目を堆積期間の分解率(製造方法と堆積期間により計算)に変更等)

判定項目	現物審査			製造方法		分析項目		発芽試験	総合得点
	色相	形状	臭気	副資材	分解率	水分	C/N		
(配点)	15	15	15	5	10	10	15	15	100
得点	11	15	13	3.2	10	6	14	15	87.2

熟度の程度

完熟

判定基準

総合得点	判定
0~50	未熟
51~71	中熟
76~100	完熟

堆肥品質に対するコメント

- ・堆肥の熟度は完熟の評価でした。発芽試験の結果は満点で、作物の生育に対して安全性の高い堆肥であると考えられます。
- ・分解率が満点の評価でしたが、水分がやや低かったことが惜しまれます。
- ・色相、形状、臭気のいずれの項目も評価が高く、外観品質に優れた堆肥になっています。
- ・引き続き良質な堆肥生産に努めていただきますようお願いいたします。

今回の判定は以上のとおりです。この判定結果を参考にして、今後も良質堆きゅう肥の生産に努めて下さい。

令和4年(2022年度)熊本県堆肥共励会堆肥腐熟度判定結果

分析機関:(一財)畜産環境整備機構畜産環境技術研究所、農業研究センター畜産研究所
コメント作成: 県北広域本部 農業普及・振興課

通しNo	105
地域	菊池-17
生産者名	セブンフーズ(株) 肥育農場 さま
堆肥原料	中小家畜

1 堆きゅう肥の成分分析結果

(分析値は現物当たりの%で示した。1%で1t当たり10kgに相当する。)

項目	水分	pH(1:20)	EC(1:20)	全窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	炭素	炭素率
分析値	34.8	7.30	10.40	2.22	4.04	3.59	4.82	1.96	22.6	10.2
評価 *1	やや高い	低い	高い	やや高い	標準	高い	やや高い	高い	やや高い	標準
肥効率を考慮した堆肥1t中の肥料成分量(kg)				11.1	24.3	32.3				

*1 評価基準は、下記参考)熊本県における堆肥の分析値により判断した。

参考)熊本県における堆肥の分析平均値(中小家畜(豚))

項目	水分	pH(1:20)	EC(1:20)	全窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	塩素	炭素	炭素率
平均値+σ	40.5	9.4	7.3	2.6	5.4	2.6	5.1	1.8	1.6	23.9	16.2
平均値	21.9	8.4	5.0	1.4	2.9	1.4	2.6	1.0	1.0	13.4	11.2
平均値-σ	3.3	7.5	2.7	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.4	2.8	6.2

この表は該当する畜種のH16-R4年度に出品された平均値です

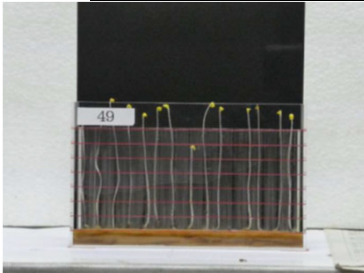
分析結果に対するコメント

・今回は中熟と判定されました。
・水分は平均値ですが、適正範囲(40~60%)をやや下回っています。堆肥化の期間中に水分が下がると微生物の活動が鈍くなり、堆肥化がスムーズに進行しなくなります。堆肥化期間中の堆肥の乾燥に注意して下さい。
・豚糞堆肥としての窒素、カリは平均値よりも高く、リン酸は標準値でありました。

注)堆肥中の養分が多いか少ないかで堆肥品質の良否は判定できませんが土作りに用いる場合は養分が少ない方が好まれる傾向があります。

2 腐熟度判定結果

発芽試験結果画像 今回出品された堆肥の試験結果



発芽インデックス値 **218**

インデックス値(指数)	評価	評点	★
150以上	完熟	15	
100~149	完熟に近い中熟	12	
70~99	中熟	9	
30~69	中熟	6	
1~29	未熟	3	

この腐熟度判定は熊本県堆肥生産技術コンクールに基づく腐熟度判定です。堆肥の熟度判定は統一的な判定法は確立されていませんので、判定法が異なれば腐熟度も異なって判定される場合もあります。

なお、平成17年度より判定項目と配点を変更しております。(発芽試験の項目追加、堆積期間と切り返しの項目を堆積期間の分解率(製造方法と堆積期間により計算)に変更等)

判定項目	現物審査			製造方法		分析項目		発芽試験	総合得点
	色相	形状	臭気	副資材	分解率	水分	C/N		
(配点)	15	15	15	5	10	10	15	15	100
得点	10	15	7	2.0	5	6	10	15	70.0

熟度の程度

中熟

判定基準

総合得点	判定
0~50	未熟
51~71	中熟
76~100	完熟

堆肥品質に対するコメント

・堆肥の熟度は中熟の評価でした。発芽試験の結果は満点で、作物の生育に対して安全性の高い堆肥であると考えられます。

・分解率で満点の評価でしたが、水分がやや低かったことが惜しまれます。

・形状の評価が高く、外観品質に優れた堆肥になっていますが、惜しまれる点として、堆積期間が60日と短い有機物の分解が充分ではなく、色相、臭気の点数が伸び悩みました。

・引き続き良質な堆肥生産に努めていただきますようお願いいたします。

今回の判定は以上のとおりです。この判定結果を参考にして、今後も良質堆きゅう肥の生産に努めて下さい。